東京デザイン専門学校
学校関係者評価報告書

（令和５年度）

実施日　令和６年（２０２４年）２月１４日・２月２４日

※令和５年度学校自己評価（基準日：令和５年（２０２３年）９月３０日）
をもとに評価実施

学校法人原宿学園
東京デザイン専門学校

令和５年度 学校関係者評価報告書について

学校法人原宿学園東京デザイン専門学校は、すべての教育活動・学校運営業務において、現状を客観的に確認しながら評価し、改善向上を図るために平成 15 年度(2003 年度)より学校自己評価を実施しています。また、平成 21 年度(2009 年度)には、本校に関係の深い方々のご意見を広くお聞きし、教育・学校運営に反映すべく学校関係者評価を実施しました。平成 25 年度(2013 年度)からは学校自己評価及び学校関係者評価を毎年実施しています。その際にいただいた多くの貴重なご意見は、その後の施策に反映させていただき、あらためて学校評価の重要性を認識しているところです。

この度は、在学生保護者・卒業生・デザイン関連業界団体の皆様やデザイン・教育等に見識をお持ちの方々に令和５年度学校自己評価の結果をお示しし、ご意見をいただきましたので、ここにご報告させていただきます。

今後もより良い学校となるべく教職員一同、一層努力して参る所存です。引き続きご支援、ご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。

令和６年（2024 年）3 月
学校法人原宿学園　東京デザイン専門学校
学校長・学校評価委員会委員長 小林登志子

学校関係者評価の実施方法と今後の取り組み

【評価委員】

学校教育法施行規則の規定、文部科学省、東京都ほか関係行政機関のご指導をふまえ、在学生保護者、卒業生、デザイン関連業界団体・企業、近隣団体等７名の方々に評価委員をお願いいたしました。（詳細は次頁をご覧ください）

【評価方法】

評価者の方々に、学校関係者評価の概要や私立専門学校等評価研究機構が策定した学校評価基準 Ver.４（文部科学省生涯学習政策局による専門学校における学校評価ガイドラインに準拠）の評価項目および学校自己評価報告書を事前にお示しし、令和６年(2024 年)2 月 14 日（水）および 2 月 24 日（土）に WEB 会議システム（Zoom）を利用してご参集いただき、令和５年度学校自己評価報告書の点検項目に沿ってご質問、ご意見をいただきました。

【報告書】

いただいたご意見等を学校長以下教職員で組織する学校評価委員会で承り、要旨を本報告書にとりまとめました。令和５年度学校自己評価報告書と併せてお読みください。

【報告書の構成】

本報告書は以下のとおり記述しています。

□学校自己評価報告書の評価基準・点検項目
□評価者の意見・質問
□質問・指摘の場合は本校の回答

【今後の取り組み】

ご意見は、次年度以降の教育計画、教育課程編成、業務計画、施設・設備計画などを立案する際、十分に考慮し、可能な項目より実現に向けて取り組んで参ります。また、平成２８年３月に職業実践専門課程に設置全９学科が認定されたこともふまえ、学校評価事業は毎年度、継続していきます。

※本校は特定非営利団体私立専門学校等評価研究機構の会員です。

東京デザイン専門学校 学校評価委員会

学校関係者評価者ご紹介（敬称略）

【在学生保護者】

ビジュアルデザイン科３年生保護者
横井　浩司

【関連業界団体・企業】

公益社団法人日本広告制作協会　常務理事
梶原　鉄也

株式会社乃村工藝社　エグゼクティブクリエイティブディレクター
鈴木　恵千代

本校グラフィックデザイン科卒業
特定非営利活動法人日本タイポグラフィ協会事務局長
アルファルファ　アートディレクター
相澤　竹夫

【近隣団体】

商店街振興組合原宿表参道欅会
株式会社　生活の木
マーケティング本部　デピュティーゼネラルマネージャー
重永　創

【卒業生】

本校ビジュアルデザイン科卒業
東京デザイン専門学校校友会　会長
宮崎　弘輝

本校グラフィックデザイン科卒業
鈴木　茉実

学校関係者評価者が所属する団体の詳細は公式サイトをご参照ください

公益社団法人日本広告制作協会　http://www.oac.or.jp/
株式会社乃村工藝社　https://www.nomurakougei.co.jp/
特定非営利活動法人日本タイポグラフィ協会
https://www.typography.or.jp/
商店街振興組合原宿表参道欅会　https://omotesando.or.jp/
株式会社生活の木　https://www.treeoflife.co.jp/

基準１　教育理念・目的・育成人材像

点検項目【１－１】理念・目的・育成人材像

この項目は【関連業界団体・企業】【近隣団体】の方々からご意見をいただいています。

本校より、教育目標を「ユニバーサルデザインを視点とした優れたデザイン力とコミュニケーションを持つクリエイターを育成する」から「SDGs の実現を意識した優れたデザイン力とコミュニケーションを持つクリエイターを育成する」に変更する予定であることの説明を受けて、変更予定に対するご意見をいただいています。

評価者意見・質疑【関連業界団体・企業】【近隣団体】

□クライアントに合わせて SDGs の取り組みを行っている。クライアントの事業を学び理解したうえで検討している。

□ユニバールデザインと SDGs の違いを意識して取り組んでいる。企業では SDGs を意識したイベントがある。全面的に打ち出すことで意識づくので、理念に掲げるのはいいと思う。

□自社は以前から自然との共生に取り組んでいたので、今までの成果を SDGs に当てはめた。ユニバーサルデザインよりも SDGs の方が企業目線であり、学生にもわかりやすい。

□SDGs は掲げられる前から自分にとって日常的なものだった。言葉だけもてはやされるのではなく、現実的に地道な活動が大切である。

基準２　学校運営

点検項目【２－２】運営方針
点検項目【２－３】事業計画
点検項目【２－４】運営組織
点検項目【２－５】人事・給与制度
点検項目【２－６】意思決定システム
点検項目【２－７】情報システム

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準３　教育活動

点検項目【３－８】目標の設定

この項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【３－９】教育方法・評価等
点検項目【３－１０】成績評価・単位認定等

この項目は【関連業界団体・企業】【近隣団体】【保護者】の方々からご意見をいただいています

評価者意見・質疑【関連業界団体・企業】【近隣団体】

□幅広い知識も大切だが、一つに打ち込むことで自信を持てるようになる。選択講座で好きなことを学ぶ方が伸びるのではないか。基礎を学んだうえで選択できるのはいい。

□空間デザイン業界は専門的に学ぶことが多いが、経営・社会の仕組みなど個別に学んでいる人もいると思う。学ぶ過程で社会性や文化等の知識が身につく。成長する人は学びを大切にしている。

□エクスタは面白いと思う。デザインはクライアントに合わせるため、すべての業種にかかわる。スキルはもちろん、クリエイションを鍛えていかなければならない。柔軟な発想は常に大切であり、経験を積んだ今でも実感する。

□自社の場合、店舗での中途採用スタッフは、接客が好きなので専門性を磨いていくことに特化しているが、異業種他社の仕事も意識して視野を広めていくことが大事だと思っている。それは学生にとっても同様で、エクスタは専攻と異なる分野も学ぶことができるので良いと思う。

□デザイン・企画は頭の中では言葉で考えられている。新入社員の企画書は定型文のコピペが多く自分の考えがない。自分の考えがなく AI を使うのは危険に感じる。

□文章力は学生に限らず苦労する。プレゼンテーション資料をしっかり作成し、表現することが大切なので、学生の時からプレゼンテーションの経験を積んでほしい。AI は活用していいと思う。頭の中でイメージができる人に AI は必要ないが、イメージができない人は AI を利用していいと思う。

□補助的に AI を利用するのは構わないが、自分で考えることが必要。自分で考えて生み出したものに喜びを感じることを大切にしている。

□広告ビジュアルを依頼する際、キャッチコピーも一緒に依頼することが多い。両方担えるデザイナーが求められる傾向にあるのではないか。

□自社では香りを言語化して AI で香りの好みを診断する取り組みをしている。勧められた香りをベースに、オリジナルのブレンドアロマを作るワークショップも行っており、AI のみでなく融合したサービスを提供している。香りを言語化、デザインを言語化、共通点がある。

□従来の在宅ワークは介護・育児に限定されていたが、新型コロナウィルスを経て勤務形態の幅が広がった。広告業界は在宅ワークと出勤半々となっており、企業の方針やクライアントに合わせて対応している。

□在宅ワークが主流になり、入社数年の若い世代に不安を感じる。出勤することで日常会話などのコミュニケーションをとれるが、オンラインでは自らがどう行動するかを考えてコミュニケーションをとらなければならない。

□生活雑貨の物販業は新型コロナウィルスによるマイナスの影響が他業種ほど大きくなかった。コロナ禍当初は家中需要が高かったが、コロナが 5 類に移行してから消費の動向が変わり、飲食・旅行が回復したことで消費が外に向いてしまった。消費を呼び戻すために、AI や空間型 VR など、リアル店舗でしか体験できないサービスに注力している。

評価者意見・質疑【保護者】

□職場の若い世代は話すのが苦手。社会に出ていくにあたり、自分の考えを発信することが必要になる。デザインではコンセプトを発信していくプレゼンが必要になるが、学校ではどのように取り組んでいるのか。

学校からの回答　＞プレゼンはコミュニケーション力であり、以前から注力している。課題の完成毎にクラスでプレゼンを行い、講評を受け、質問に回答をしている。近年の学生は語彙が少ない印象がある。積み重ねが大切であるためエクスタなども活用していきたい。

□東京都発行の統計データによると、この 10 年間でデザイン系学校の学生数は減少傾向にあり、一方で美術系学校は増加傾向にある。デザイン学校と美術学校の違いは何か。

学校からの回答　＞専門学校はデザイン系が多く、美術系も一部ある。美術学校では絵画彫刻などを学ぶが、就職が難しいためデザイン分野にシフトしており、グラフィックデザイン等も学んでいる。美術学校で制作する作品は美術作品だが、デザインを学ぶ傾向にある。決定的な違いはない。

点検項目【３－１１】資格・免許の取得の指導体制

点検項目【３－１２】教員・教員組織

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準４　学修成果

点検項目【４－１３】就職率

点検項目【４－１４】資格・免許の取得率

点検項目【４－１５】卒業生の社会的評価

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準５　学生支援

点検項目【５－１６】就職等進路

この項目は【保護者】【卒業生】の方々からご意見をいただいています。

評価者意見・質疑【保護者】【卒業生】

□入社時は組織の歯車の一つからスタートするが、クリエイターを目指している人が満足するのか疑問。就活中の学生は不安を抱えているので、年代別で卒業生の経験談を聞けるといいのではないか。

・入社後すぐの歯車の一部の立場（20 代）
・歯車を束ねる立場（30 代）
・自分の裁量で動かせる立場（40 代）

年代により視点、立場が変わっていくので学生の想像の幅が広がると思う。

学校からの回答　＞ＯＢＯＧ説明会では入社 3 年程度の卒業生に当時の就活や現在の仕事などについて話してもらっている。学んだことに関連した職業に就くことが多いが、本来やりたい仕事ができるかはわからず学生は不安に感じている。提案いただいた内容は、入社直後の様子、その後のステップアップと段階を踏み、学生がイメージできるようになるため参考になる。

□自身が起業しているデザイン業界外の会社で、本校の卒業生を複数名採用している。将来違う分野で働きたい人への幅広い選択肢があるといい。

点検項目【５－１７】中途退学への対応

この項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【５－１８】学生相談
点検項目【５－１９】学生生活

この項目は【卒業生】の方々からご意見をいただいています。

評価者意見・質疑【卒業生】

□新型コロナウィルスの影響で同好会活動がなかった。在学中、クラスメイトとスポーツ同好会を作りたいと話していたが、実現できずに卒業を迎えた。

学校からの回答　＞以前は同好会が 7～8 団体があったが、新型コロナウィルスの影響で活動自粛となり、すべて解散した。今年度より同好会活動を再開し、3 団体が新設された。学業も大切だが、学科を超えて交流がもてる貴重な場なので、今後も学校から積極的に働きかけ、学校生活を活発化させたい。

□クラスメイトがスカラシップ制度を利用していたため、制度があることを知っていたが、自分は利用しなかった。

学校からの回答　＞本校独自の奨学金制度は、過去は成績が優秀な学生を対象にしていたが、現在は経済的に困窮している学生を対象にしている。

点検項目【５－２０】保護者との連携
点検項目【５－２１】卒業生・社会人

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準６　教育環境

点検項目【６－２２】施設・設備等
点検項目【６－２３】学外実習・インターンシップ等
点検項目【６－２４】防災・安全管理

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準７　学生の募集と受け入れ

点検項目【７－２５】学生募集活動点検項目
点検項目【７－２６】入学選考

この項目は【関連業界団体・企業】【卒業生】の方々からご意見をいただいています。

評価者意見・質疑【関連業界団体・企業】

□従来、学校とは就職（出口）のつながりが多かったが、今後は入学（入口）の在り方についても、業界団体・企業と学校とが情報を共有していくことが大切になると感じている。

学校からの回答　＞入学希望者に的確な情報を伝えていくために、業界の情報収集に注力している。

□文科省が定める学校指導要領が変更され、美術と音楽の時間が減ったことに危機感がある。義務教育の中に、美術（アート）とは別に「デザイン」という言葉を取り入れデザイン教育の時間を作ってほしい。

評価者意見・質疑【卒業生】

□大学進学希望だったが、絵を描くことが好きだったので専門学校を調べ始めた。原宿に憧れた。体験イベントで講師と在校生の対応が良かった。

□大学進学希望だったが叶わなかった。当時は 3 年制の専門学校は少なかったが、しっかり学びたいと思い 3 年制の学校を中心に探した。体験イベントの対応が良く、就職率も良かったのが決め手となった。

点検項目【７－２７】学納金

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準８　財務

点検項目【８－２８】財務基盤
点検項目【８－２９】予算・収支計画
点検項目【８－３０】監査
点検項目【８－３１】財務情報の公開

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準９　法令等の遵守

点検項目【９－３２】関係法令、設置基準等の遵守
点検項目【９－３３】個人情報保護
点検項目【９－３４】学校評価
点検項目【９－３５】教育情報の公開

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準１０　社会貢献・地域貢献

点検項目【１０－３６】社会貢献・地域貢献・国際交流
点検項目【１０－３７】ボランティア活動

この項目は【関連業界団体・企業】【近隣団体】【保護者】【卒業生】の方々からご意見をいただいています。

評価者意見・質疑【関連業界団体・企業】【近隣団体】

□デザインは社会に貢献している。社会活動やボランティアに関わり視野を広げることで価値観も広がっていく。社会と関わることで自分がどうなりたいか、自分を知ることができる。

□周年事業は歴史を振り返り、改めて見つめ直すことができる。今後に繋げ弾みができるといい。

□自社 120 周年の取りまとめを担当した。企業の見え方を考え、キービジュアル等を制作した。学校の周年事業では、どのように社会に PR できるか、学生を巻き込んで企画できるといいのではないか。

□振り返りに終わらず、次のステージに進むきっかけになるといい。原宿エリアの欅会は昨年 50 周年を迎えた。エリアの企業とコラボするのも面白いのではないか。

評価者意見・質疑【保護者】【卒業生】

□周年事業で卒業制作の変遷を見てみたい。作品で過去を振り返ることにより、各時代で考えていたことが見えてくるのではないか。

□新型コロナウィルスの影響で、入学式をはじめ、すべての行事において制限が多かった。周年事業は盛大にやってほしい。記念にノベリティがあるといい。

学校法人原宿学園
東京デザイン専門学校
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-62-8
学校関係者評価報告書についてのお問合せ先
学務部　TEL ０３－３４７５－０１７２